

地区社協だより もりやま



田尻 川瀬エミ子さん撮影



新年明けましておめでとーございませう
何となく
今年はいい事あることし
元旦の朝 晴れて風無し
石川啄木
昨年コロナ禍で生活が様々な面で制約を受けました
今年「龍年」。四霊のひとつで雲を呼び空にのぼり・大変活動的な守護神
皆様方にとりまして益々の活躍の年になりますよう祈念申し上げ年頭の挨拶いたします



森山地区社会福祉協議会
会長 山口公德

新年のごあいさつ

地域防災の第一歩は、災害が発生したときの問題や課題を見つけること ～杉谷地区 備後崎・田の島の皆さんが「防減災まちあるき」～

杉谷地区備後崎・田の島地区で「防減災まちあるき」が11月26日（日）に開催されました。この事業は、災害発生時に地域住民の助け合い意識をもって行動することで災害に強い地域づくりを推進し、住民同士のつながりを育むことが目的。当日は、自治会役員、消防団幹部、地域の皆様、防減災まちあるき推進員など32名が参加しました。



まちあるき参加者の皆さん

鎮西学院大学佐藤快信教授を講師に、グループを編成して地区の防火水槽やトイレ、自動販売機等の防災資源と土砂崩れが想定される危険個所を確認しながら防災マップを作成。その後、避難場所である諫早東高校周辺を歩きながら、避難経路、水路等の防災マップ危険個所を検証しました。昭和32年諫早大水害で発生した崖崩れの跡や令和4年に発生した当地域での排水不良による湛水の改良対策等の現場を確認しました。



まちあるきを振り返って、「近隣住民への声掛けの重要性と早期避難、特に高齢者の避難については日頃から話し合っておくことが重要だ。」と参加者からの声がありました。秀島公一郎自治会長は、「今回のまちあるきは、防災を考えるきっかけづくりになった。災害発生時に地域を守る活動につながる」と語りました。この活動を通じて地域の方々との絆が深まったのではないかと思います。

つきたてのお餅をひとり暮らし高齢者の皆さんへ届けました ～健康で明るい年になりますように～

森山地区社協は、ひとり暮らし高齢者に年末の餅を贈っています。今年も自治会長、民生・児童委員、福祉協力員、地区社協役員が慶師野公民館で餅つきを行いました。この日ついた餅は約100kg、188人の方へ民生・児童委員が一人ひとりに声掛けをしながらメッセージを添えて届けました。餅の配付は、民生・児童委員と高齢者をつなぐ年末の行事でもあり、つきたて餅は民生・児童委員が寄り添い、地域ぐるみで高齢者を見守ることの象徴ともいえます。



「いつもありがとう」



「つきたて餅を届けたい」

- 《訪問先でいただいた言葉》
- 「餅、好いとつとよ、嬉しかあ！」
 - 「お餅は、おいしかもんね」
 - 「いろいろありがとうね」

諫早東高校生徒さんから森山のひとり暮らし高齢者へクリスマスプレゼント ～毎年つづいている温かい贈り物が今年も～

今年も県立諫早東高校（橋本豪校長）1年生の皆さんから、ひとり暮らし高齢者へのプレゼントをいただきました。12月14日、橋本校長、岩村教諭が同席されて校長室で贈呈式があり、1年生全員で作成した手作り作品を、生徒代表から森山地区社協鳥越忠則副会長へ贈られました。生徒代表からは、「万一のときに役立ててください」と防災グッズを手渡され、鳥越副会長は「たくさんの贈り物をありがとうございます。皆さんのお気持ちをしっかり届けます」とお礼を述べました。今年「避難時持ち出し袋（リュックサック）」と「防災頭巾（平時は、椅子シート）」で、慶師野と唐比地区の女性の方へ届けられました。



背もたれ・防災頭巾
諫早東高校生徒さんから

なお、諫早東高校は、学校安全総合支援事業の一環として防災学習に取り組んでおり、10月には「防災学習 in 諫早東高校」を開催しました。今回の防災グッズプレゼントは、防災学習と地域貢献活動の意義が込められています。

「寄付ありがとうございました」

左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました。

寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切に使用させていただきます。

令和5年10月1日～12月31日受付

《香典返し》

- ◎田 尻 城野マサ子様
- 【亡夫 誠様】
- ◎上井牟田 中野千代子様
- 【亡夫 勲様】

《お知らせ》

○高齢者と子どもの集い

日時…令和6年1月21日（日）
午前9時30分～

場所…森山公民館

○第3回地域福祉セミナー

日時…令和6年2月9日（金）
午後7時～

場所…森山公民館

テーマ…「地域医療の現場から」
講師…姉川病院 境 昌子氏他

2. 地域とともに150年を迎えて ～地域の皆様へ 子ども達へ～ (森史江校長談)

森山東小学校の子ども達は、明るく素直な子が多い。活動も前向きで家庭と地域からたくさん愛情を貰っている子ども達だ。家庭でも地域でも大切に守ってきていただいていることが良くわかる。地域あつての学校であり感謝の言葉しかない。地域の皆様には、これからも子どもは地域の宝として目をかけ声をかけていただきたい。

子どもは、愛されて育てば大人になったときに自分の子どもを愛するようになる。家族にも友達にも、広く思いやりのある人になってほしい。

3. 通学の思い出

雨が降っても、雪が降っても歩いて登校した小学校の思い出を卒業生が語ってくださった。

《難所のすずめごろし 田尻 竹内徳次さん(88歳)談》

田尻の子どもは、なんといってもすずめごろしが難所。第2次世界大戦の戦時下で、学校では軍事教練ばかりだった。校庭に防空壕も掘った。すずめごろし峠でも、上級生が指揮して防空壕を掘ったものだ。

平成19年に峠は堀切になり舗装道になったが、当時はもっと高く険しい峠で、冬は霜柱が立ち、雨が降るとぬかるみだった。子どもは、わらじ履きで通った。冬の日、裸足で廊下に立たされると、それはそれは凍えていたばい。学校帰りには、ひもじくて道路脇のはっちゃん(さつま芋)や柿の実を無断で貰っていた。農家の方も「今年のはっちゃんは少なかなあ」とおおらかであった。昭和も遠くなった。(昭和20年卒業 児童数405人)



今も昔もすずめごろし峠を歩く

《鳥越坂を越えて 杉谷 鳥越忠則さん(80歳)談》

杉谷の子ども達は、今は江城から唐津経由の平坦道路を通学しているが、私たちの時代は、江城から鳥越坂を越えて通った。段々畑のなかの通学路は、格好の遊び場であり食糧の補給場所でもあった。昭和20年代後期、教科書は風呂敷に入れ、ゴム草履履きの子どももいた。長靴は配給だった記憶がある。夏には杉谷溜池、三の割溜池で泳いでいた。

土橋貞恵翁祭には西小学校からも参加するが、長走まで追いかけて行って西小学校とけんかしおった。あれはなんでか知らんが、毎年のことだった。(昭和31卒業 児童数425人)

《唐比の浜からは毎日が遠足 唐比 佐藤哲雄さん(72歳)談》

昭和35年頃かな、学校は校舎建築で雑然としていて授業らしい授業の記憶はない。教室から脱走した同級生を捜しに行ったり、先生からひどく叱られたり・・・決められた通学路はなかったよ。旧小浜温泉鉄道跡の砂利道を歩いて通ったが、帰りは山王公園の山道に入り、わざと山越えをして山んなかで遊びおった。唐比西の子どもは、餅田山から山に入って遠回りして遊びながら歩いてきたようだ。遠足は唐比の浜か有喜の浜が多かったが、浜のものは毎日が遠足たい。もう60年以上になるなあ。(昭和39年卒業 児童数433人)



大正11年～昭和29年校舎
森山尋常高等小学校
森山東国民学校 時代



昭和30年～昭和60年校舎
森山村立森山東小学校
森山町立森山東小学校時代



昭和61年～校舎
森山町立森山東小学校
諫早市立森山東小学校
(現在の校舎)

祝 諫早市立森山東小学校 創立150周年

真心・汗・花いっぱい 森山東小学校PTA

1873年(明治6年)に開校した諫早市立森山東小学校(森史江校長 児童数103人)が、創立150周年を迎えました。同校は、明治5年の教育令に基づき創立されたもので森山の教育の原点となりました。明治・大正・昭和・平成・令和の長い歴史のなかで、多数の卒業生を送り出しています。令和5年11月26日に児童・教職員はじめ地域の関係者が集い記念式典を開催し、創立150周年を祝いました。

1. 森山東小学校沿革

西暦	元号	できごと
1873	明治6年	明治5年学制発布に基づき、森山村東部と唐比村が連合して杉谷名天満宮社地内に諫早藩校好古館の一部を移転して「森山小学校」を創立。校舎は、間口2間、奥行き8間、教室は畳敷きで32坪。
1885	明治18年	火災で校舎焼失。田尻、本村、唐比に分校を設置。火災翌日から安祐寺で授業開始、19年から近くの民家を仮校舎とする。
1886	明治19年	小学校令施行。「森山尋常小学校」と改称。(修業年限4年)
1889	明治22年	町村制実施により唐比村、井牟田村、森山村が合併し森山村となる。
1892	明治25年	校舎新築落成。高等科併置、尋常2学級科113名、高等科1学級54名。
1896	明治29年	星が原で運動会(明治～昭和と開催されるも昭和23年を最後に廃止)
1907	明治40年	小学校令改正。尋常小学校修業年限6年、高等科2年になる。学級は尋常科6学級、高等科2学級、実業補習学校を併置。愛野、吾妻からの通学あり。
1915	大正4年	土橋貞恵翁追悼式挙行。
1922	大正11年	新校舎落成。校舎総坪463坪(1,528㎡)、校地1,919.5坪(6334.4㎡)
1941	昭和16年	学制改革により「森山尋常高等小学校」を「森山村東国民学校」と改称。
1947	昭和22年	学制改革により「森山村東国民学校」を「森山村立森山東小学校」と改称。
1955	昭和30	西側校舎2階建改築、講堂建築、東側校舎2階建落成
1959	～36年	
1969	昭和44年	町制施行により「森山町立森山東小学校」と改称
1974	昭和49年	創立100周年
	昭和61年	全校舎落成(現在の校舎)
2005	平成17年	諫早市との合併により「諫早市立森山東小学校」と改称
2023	令和5年	創立150周年



150周年を児童・教職員・地域の皆さんと祝う



授業の開始・終了を知らせた鐘
(東小学校校長室保管)



東小学校のシンボルツリー
校庭の大クス